

みてんか

まつさか市議会だより

vol.74
2019.3.1

マジメで
面白くない
報告ですが…

「みてんか」は電子
ブックやPDFでも
ご覧いただけます。



11月定例会開催しました！

平成30年度松阪市一般会計補正予算 (第5号)など43議案を可決・同意

平成30年11月定例会は、11月27日から12月17日までの会期21日間で開かれました。一般質問は12月4日、6日、10日の3日間、15人の議員により行われ、最終日には議案2件が上程、議案43件が原案どおり可決・同意されました。継続審査中の請願第6号は、再度閉会中の継続審査に、また請願第7号は、一部採択としました。



議案
第141号

平成30年度松阪市一般会計補正予算 (第5号)について

工事の請負に関する契約の締結について (松阪市立小中学校空調設備 DBO 事業)

反対 討論

維持管理費3億1,810万円の根拠がわからない。根拠がはっきりわかる資料の提出を求めていくということで、議会の合意を得ること。維持管理費の根拠に透明性を欠くままでは議会は議決に責任を追うことができない。

賛成 討論

昨年来からDBO事業全体については議論しているものであり、1億5,000万円以上の工事請負にかかる契約ということで、この点に関しての審議が重要である。DBO事業は、設計、施工、工事監理、維持管理の4つの業務に分かれており、トータルで約20億円の事業費である。維持管理業務は、この中の一部にすぎない。この手法は総額金額を出したら、業者側は自由に配分を決められる。議会はあくまでも要求水準書にある詳細な業務内容を理解する捉え方である。

用語
解説

DBO方式

公共が資金調達を担い、設計・建設・運営を民間に委託する方式のこと。

賛成多数
可決

請願
第7号

松浦武四郎の記念日等に関する請願書

◆請願者 前川幸敏

◆請願内容

松浦武四郎の日制定と、松浦武四郎が幼少より過ごした誕生地前の旧伊勢街道と周辺の道を松浦武四郎にちなんだ命名にすること、および松浦武四郎誕生地入り口受付に情報を発信する器材を設置することを有識者を交えて検討すること。

▲郷土の偉人 松浦武四郎



11月30日 (本会議) 本会議に上程。紹介議員の補足説明の後、質疑が行われ、文教経済委員会に付託。

12月11日 (文教経済委員会) 請願者への質疑の後、一部採択(趣旨採択)の動議が提出され、採決の結果、挙手多数により一部採択(趣旨採択)すべきものと決定。

一部採択(趣旨採択)の動議

松阪市として多くの松阪の偉人たちのこういった事柄をどのように顕彰すべきか、中身が問われる時代に入っているようにも思われる。それらについて有識者を交えて議論をしていただくことも必要である。顕彰していくことは重要であり、記念日の制定と道の命名については重要で難しいことでもあり、慎重にしていくことが大切である。

12月17日 (本会議) 委員長報告の後、討論、採決の結果、賛成多数により松阪市議会会議規則第95条による一部採択に決定。

一部採択に 反対の討論

一部採択の理由は、慎重な検討が必要ということであるが、本請願は、有識者や関係機関に十分な検討を求めており、慎重な審議を経た上での、議会としての方向性や意思を明確にすることが求められている。武四郎を顕彰し、将来に向けて松阪市の偉人として受け継いでいくため、意義あるこのときに記念日を制定することは、市民、松阪市にとって大きな意義がある。

一部採択に 賛成の討論

請願者の願意は受け止めるが、どの日を武四郎の日とするのか、武四郎に関わって伊勢街道をどう顕彰するのか。明確な提案があったとは受け止められない。有識者の方の検討を求めるということを受け止める範囲での採択をすべきであり、一部採択は最も願意を生かし、かつ今後の検討に資するものである。

一部採択に 賛成 15 本会議
反対 11 欠席者 1

一部
採択

議会
早わかり



■ 一部採択とは

内容が数項目にわたり、一部に賛成できる場合とできない場合があるとき、項目別に採決を行い、一部を内容や趣旨が妥当であり、かつ実現の可能性があると採択とし、一部を不採択とするもの。

11月定例会 議決結果一覧表

全会一致で可決、同意された案件

議案番号	案 件
議案第115号	平成30年度松阪市一般会計補正予算（第5号）
議案第116号	平成30年度松阪市競輪事業特別会計補正予算（第2号）
議案第117号	平成30年度松阪市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
議案第118号	平成30年度松阪市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
議案第119号	平成30年度松阪市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
議案第120号	平成30年度松阪市戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）
議案第121号	平成30年度松阪市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
議案第122号	平成30年度松阪市水道事業会計補正予算（第1号）
議案第123号	平成30年度松阪市公共下水道事業会計補正予算（第1号）
議案第124号	平成30年度松阪市松阪市民病院事業会計補正予算（第1号）
議案第125号	松阪市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部改正について
議案第126号	松阪市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について
議案第127号	松阪市職員の給与に関する条例の一部改正について
議案第128号	松阪市税外収入金に対する督促手数料等に関する条例の一部改正について
議案第129号	松阪市福祉会館条例の一部改正について
議案第130号	松阪市福祉医療費の助成に関する条例の一部改正について
議案第131号	松阪市飯高診療所条例の一部改正について
議案第132号	豪商のまち松阪観光情報センター条例の一部改正について
議案第133号	松阪市道路占用料等徴収条例の一部改正について
議案第134号	松阪市河川土地占用料等徴収条例の一部改正について
議案第135号	松阪市総合運動公園運動施設条例の一部改正について
議案第136号	松阪市立歴史民俗資料館条例の一部を改正する条例の一部改正について
議案第137号	松阪商人の館条例の一部を改正する条例の一部改正について
議案第138号	松阪市原田二郎旧宅条例の一部を改正する条例の一部改正について
議案第139号	松阪市旧長谷川邸条例の一部改正について
議案第142号	松阪市公の施設に係る指定管理者の指定について（松阪市飯南高齢者・障害者福祉施設ふれあいセンター）

議案番号	案 件
議案第143号	松阪市公の施設に係る指定管理者の指定について（松阪市飯南高齢者生活福祉センター）
議案第144号	松阪市公の施設に係る指定管理者の指定について（松阪市飯高高齢者生活福祉センター）
議案第145号	松阪市公の施設に係る指定管理者の指定について（松阪市ハートフルみくも）
議案第146号	松阪市公の施設に係る指定管理者の指定について（森診療所）
議案第147号	松阪市公の施設に係る指定管理者の指定について（波瀬診療所）
議案第148号	松阪市公の施設に係る指定管理者の指定について（宮前診療所）
議案第149号	松阪市公の施設に係る指定管理者の指定について（松阪市飯高グリーンライフ山林舎）
議案第150号	松阪市公の施設に係る指定管理者の指定について（松阪市飯高森林とのふれあい環境整備施設）
議案第151号	松阪市公の施設に係る指定管理者の指定について（松阪市宿泊施設「スモール」及び松阪市香肌峡健康の森運動公園）
議案第152号	松阪市公の施設に係る指定管理者の指定について（豪商のまち松阪観光情報センター、旧長谷川邸、旧小津邸及び原田二郎旧宅）
議案第153号	松阪市公の施設に係る指定管理者の指定について（松阪市嬉野グラウンド及び松阪市嬉野体育センター）
発議第20号	市議会議員の派遣について（広報広聴委員会視察調査）
発議第21号	市議会議員の派遣について（議員研修会）

表決が分かれた案件

議案番号	案 件	審議結果
議案第140号	新市建設計画の変更について	賛成多数 可決
議案第141号	工事の請負に関する契約の締結について（松阪市立小中学校空調設備整備 DBO 事業）	賛成多数 可決
請願第6号	議会として、松阪市に対し、蒸気機関車「くろすけ」の保存活用に責任を持って臨んでいただくこと等を求める請願書（継続審査中のもの）	賛成多数 継続審査
請願第7号	松浦武四郎の記念日等に関する請願書	賛成多数 一部採択

議員名 議案番号	真 政 ク ラ ブ							松 政 会				公 明 党			日本共産党			市民 クラブ		無所属の会・ みらい			会派に所属 しない議員					
	赤塚 かおり	坂口 秀夫	植松 泰之	堀端 脩	野呂 一男	中村 良子	山本 芳敬	大平 勇	中村 誠	松本 一孝	谷口 聖	市野 幸男	米倉 芳周	松岡 恒雄	山本 節	西村 友志	殿村 峰代	栗谷建 一郎	久松 倫生	橘 大介	楠谷さ ゆり	中島 清晴	田中 正浩	西口 真理	海住 恒幸	深田 龍	沖和 哉	濱口 高志
議案第140号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	×	○	欠	○
議案第141号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	×	×	○	○	○
請願第6号(継続審査)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	×
請願第7号(一部採択)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	－	×	×	×	○	×	○

議長 中島清晴は採決に加わりません。 ○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員、欠は欠席した議員。
(平成30年12月17日現在)

みてんか73号 P15の訂正について

平成30年9月定例会の議決結果一覧表の請願第5号「防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実を求める請願書」の表決に一部誤りがありました。お詫びして訂正させていただきます。

正

議案番号	案 件	審議結果	無所属の会・みらい	
			西口 真理	海住 恒幸
請願第5号	防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実を求める請願書	賛成多数 採択	○	×

誤

議案番号	案 件	審議結果	無所属の会・みらい	
			西口 真理	海住 恒幸
請願第5号	防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実を求める請願書	賛成多数 採択	×	○



百条委員会、2月定例会中に最終報告

地区集会所建設事業補助金交付事務に関する調査特別委員会

平成30年6月定例会において、「百条委員会設置に関する請願書」が採択されたのを受け、議会運営委員会で協議した結果、議会運営委員会委員全員で6月定例会最終日、7月11日、特別委員会設置の発議を提出。全員一致で可決。平成23年度にパークタウン自治会が地区集会所改修工事に対する補助金が過大請求であった問題で、松阪市議会は、平成30年8月9日、地方自治法第100条に基づき、「地区集会所建設事業補助金交付事務に関する調査特別委員会」を設置し、調査を進めています。調査結果については、平成31年2月定例会中に同委員会委員長による報告を行う予定です。これまでに関係者3人に委員会での証言を求めました。

- 10月29日 当時の市担当職員に対する証人尋問（公開）
- 11月6日 当時の自治会長に対する証人尋問（公開）
- 11月28日 請負業者に対する証人尋問（非公開）

委員会の論点

- ①過大な補助金が交付された背景原因の究明。
- ②再発防止策についての検討。

アンケート結果をもとに執行部への提言も ～松阪市入札制度について～



総務企画常任委員会

総務企画常任委員会は松阪市の入札制度について、予定価格算出方法、公正かつ自由な入札になっているか、工事の発注時期と期間の妥当性、最低制限価格など7項目について郵送によるアンケート

調査を行いました。市内190社を対象に、昨年7月31日に調査票発送、8月1か月をかけて実施し、140事業者から回答をいただきました（回収率73.7%）。

同年9月以降、結果の精査を行いながら、契約監理課の出席のもと総務企画委員会協議会を開催し、検討を行い、平成31年1月に中間報告を出しました。今後、さらに検討を加え、協議結果をまとめ意見書を提出するよう準備を進めています。

松阪商工会議所女性会との 意見交換会

昨年度に引き続き、松阪商工会議所女性会の17名と松阪市議会広報広聴委員会（委員8名）との意見交換会が開催されました。

交換会では4つのテーマに沿って話し合われました。



① 松阪駅前について

女性会
より

駅西開発における新施設について現商店街とのリンクをどのように考えているか、使いやすい駐車場やイベントスペース・貸しホールの充実や健康管理ステーションを施設内に設置し、ウォーキングコースを商店街歩道に設けて市民の健康管理と駅前賑わいの両方を創出する仕組みづくりが提案されました。

委員会
より

平成31年3月駅西地区複合施設基本構想が策定されるが、具体的な内容については今後さらに検討されるため、参考にさせていただきたい。

② 観光施策について

女性会
より

松阪市観光交流拠点施設について活用方法や他の施設との連携、集客プラン等の質問や大型バスの駐車場の設置要望が出されました。

委員会
より

単に観光情報を提供するだけでなく、訪れた人のまち歩きをサポートする拠点として地元との交流や、歴史や文化を深く知る交流に発展することを期待して、「豪商のまち松阪観光交流センター」として平成31年4月からオープンする。また、旧長谷川治郎兵衛家の庭園の前に大型バス駐車場が確保される予定です。

③ 子育て支援・働く女性の社会進出について

女性会
より

保育料の無償化・一律化や保育士の待遇改善、育ボス宣言による企業負担への意見・要望が出されました。

委員会
より

閣議決定では、2019年10月1日から無償化される予定であるが、まだ具体的な決定はありません。保育士の待遇改善の今年度市の予算は4,431万円である。

④ 地域防犯・防災について

女性会
より

親子や家族が参加したくなるように防災関連のイベントを見直し、もっと個々への意識づけになるよう内容の充実と拡充を図ってほしいという意見・要望が出されました。

委員会
より

避難所運営ゲーム（HUG）やワークショップ形式を取り入れ、皆さんが参加しやすい環境を整えるようにしているが、まずは市民の皆さんが自身のこととして参加していただきたい。

松阪市議会では、さまざまな団体との意見交換会を開催していきたいと思っています。いろいろな質問や意見を聴かせてください。

一般質問

12月4日・6日・10日に15人の議員が市長に対し、市の一般事務の執行状況や、将来に対する方針などについて、一人あたり50分(答弁時間含む)の時間制限の中で質問しました。

一般質問のページの原稿は、本会議での発言を要約し、議員自身が作成したものをそのまま掲載しています。

平成30年11月第5回定例会 一般質問通告表

12月4日(火) 午前10時～

- | | |
|--------|--------|
| ①殿村 峰代 | ②市野 幸男 |
| ③西口 真理 | ④西村 友志 |
| ⑤楠谷さゆり | ⑥橘 大介 |

12月6日(木)

- | | |
|--------|--------|
| ①山本 節 | ②久松 倫生 |
| ③海住 恒幸 | ④松岡 恒雄 |
| ⑤栗谷建一郎 | ⑥田中 正浩 |

12月10日(月)

- | | |
|--------|--------|
| ①米倉 芳周 | ②濱口 高志 |
| ③松本 一孝 | |

質問時間は、1人50分。(答弁時間を含む)
◎統括、一問一答、分割のいずれかを選択して行います。

※QRコードからは、各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。
(別途通信料が発生します)

日本共産党



とのむら みねよ
殿村 峰代 議員



なかなか浸透していかない 成年後見制度どう考える

Q 成年後見人制度の現状と後見人が急に亡くなったり、災害などで親戚縁者が突然不在になった場合の手立てに市民後見制度の必要性はどうか。

A 成年後見が難しいもの、高額な費用がかかるというイメージがあり、なかなか浸透しきれていない。しかし、必要に迫られてからでは時間が掛かる。早めに考えて備えておくことが大切。継続して啓発活動を行う。市民後見人の活用は、被後見人の日常生活により密着した活動が期待され、有効であると考えている。

Q 市民後見人の養成計画は。

A 具体的な計画の策定には至っていない。

意見 本人の財産や権利を守り、松阪で安心して住み続けることができるようにしっかりと進めていただきたい。

高齢者の空き家対策・ペットの行方 ～超高齢社会への対応～

Q 身寄りのない身体的に不自由な高齢者が粗大ごみを捨てる際、法の狭間で対処に困るがどのような方法があるか。

A 関係する部局と、代理でのごみ搬入などの協議を進めている。

Q ペット等ご自分で対処できる時間がなくなる前に促す終活への取り組みは。

A 超高齢化社会に対する仕組みづくりをきちんとして、総合的な対策を市政の中の大きな課題として取り組んでいきたい。

松政会



いちの ゆきお
市野 幸男 議員



生涯スポーツの推進

Q 松阪市ホームページで貸出用具一覧をクリックすると、掲載されている情報はありませんか出てくるが、貸出用具はないという事なのか。

A 生涯スポーツ用具としてグラウンドゴルフ他さまざまな用具が揃っている。

意見 ホームページへの反映と、はじめの一步が踏み出せるよう貸出用具の充実を。

コミュニティ・スクールの 進捗状況と今後

Q 地域学校協働活動推進員の配置は進んでいるのか。

A 県内を含めて現状はないが、推進員の役割は重要であると考え視察や調査研究を継続して進めていく。

AED 設置場所

Q スーパーに設置されているAEDは営業時間内でないと使用できない。公共施設は行くのに時間がかかる。コンビニは24時間営業している点からも提携できないか。

A 引き続き他市の動向を注視し、調査研究をしているところ。

Q 以前からの要望がある中で何も進んでいないのでは。

A コンビニへの設置は検討した部分もあるが、費用負担、維持管理の問題があり、まだ現在検討を続けている状況。

無所属の会・
みらい



にしぐち まり
西口 真理 議員



老人福祉センター松寿園のあり方

Q 松寿園は建設以来45年が経過し老朽化が進み、耐震補強もバリアフリー化もされていない。「公共施設等総合管理計画」でも「廃止も踏まえ検討」とされているが、検討されているのか。改修工事の予定は。

A 定期的に施設の安全について点検を実施し、必要があれば職員が高齢者に付き添って安全を確保している。現在も多くの利用者があるので、運営方針については今後協議を深めていく。

Q 現在の業務内容について伺いたい。

A 平成29年度の利用者は延べ8,526人、514組。入浴は1日平均15人。マイクロバスの運行は週2～3回。看護師は週3日勤務で健康相談を行っている。

Q 現在貸し館のみの運営である。唯一の市直営の老人福祉センターとしてこれでもいいのか。多人数が入れる広い部屋が2つ、職員が5人、送迎用のバスもある。年間の維持管理運営費が約2,800万円。今のままでは資源がもったいない。健康づくり、レクリエーション講座等、高齢者の健康や福祉の向上に市として積極的に取り組んでいただけないか。もう少し力を入れて内容の充実を図っていただきたい。

A これからの活用は、運営委員会の中でしっかりと議論をしていきたい。

その他の
質問事項

・不登校児童生徒への支援について、市の基本姿勢と取り組みを問う



公明党
にしむら
西村 友志 議員





市民クラブ
くすたに
楠谷さゆり 議員





市民クラブ
たちばな だいすけ
橋 大介 議員





公明党
やまもと たかし
山本 節 議員



難病患者の通院費助成制度

- Q 障がい者や難病患者、腎臓疾患による透析患者の通院費助成制度の現状は。

A タクシー乗車券の交付、燃料費の一部の助成をしている。福祉有償送迎サービスでは民間タクシーのおおむね半額以下に設定されている。

Q 透析患者の場合、遠距離の方は大きな負担となる、更なる援助は。

A 現行制度も含め研究していきたい。

地域包括ケアシステムの現状と課題

- Q 地域の力を活用しながら高齢者を支えていく地域包括ケアシステムの推進状況と課題についてどうか。

A 5つの地域包括支援センターが役割を發揮し進めている。課題としては市民への周知や医療介護職の連携体制の整備である。

三世代同居の政策推進

- Q 三世代が一緒に暮らすことでそれぞれの世代にメリットが生まれる。三世代同居に対する支援策はどのようなものか。

A 市外からの転入者に対し三世代同居、近居を開始する世帯の住宅の新築、増改築に対し費用の一部の補助を行っている。

意見 世代同居（近居）の推進にもっと力を入れ、新築、リフォームに限らずその他優遇策を講じ、全庁的に総合的な政策を推進すべきと考える。

- その他の質問事項

 - 障がい者の就労希望と事業者のマッチング
 - 松阪市スポーツ推進計画

人権尊重都市宣言をした松阪市として

- Q 性的少数者LGBT に関する人権課題について、松阪市はどう考えるのか。

A LGBT のさらなる理解が前提である。

Q 印鑑登録申請用紙にある性別の項目は削除しても問題ないと思うが。

A 当面はこのままで、印鑑登録システムを再構築する場合には改修し、条例についても改正が必要かと考える。

Q 在住外国人のための日本語教室は、来年度も開く考えはないのか。

A 生徒の継続性に課題があると聞いている。また、言葉を覚えるには日々の生活の中で必要な体験から身に付くことが多いと言われている。

Q 継続性が低いという問題があっても、門戸は開いておくべきだと思うが。

A 外国人の方の認識というのも考えていく必要がある。

Q 障がい者差別解消支援地域協議会の設置について、どのように進んでいるのか。

A 当事者団体の方の意見を十分に伺いながら、設置に向けて検討して、可能な限り早期に設置したい。

Q 来年度の4月からという目安でよいか。

A 新年度には立ち上げができるように進める。

- その他の質問事項

 - 障がい者の就労希望と事業者のマッチング
 - 松阪市スポーツ推進計画

松浦武四郎生誕 200 年記念事業

- Q 松浦武四郎記念の現状は。

A 9月から10月にかけて実施された有識者による基調講演、トークセッションなどを盛り込んだ「武四郎フォーラム」の開催、ミュージカル「松浦武四郎」の松阪公演があった。この他、武四郎が好んで身に付けてきた首飾り体験を進めてきた。松浦武四郎を主人公とするドラマ制作の発表があり、さらなる武四郎ブームが続くと期待している。

Q 北海道150年記念ドラマの進^{ちよく}捗状況や、その他情報があれば教えていただきたい。

A NHK のドラマは「永遠のニシパ〜北海道と名付けた男 松浦武四郎〜」。武四郎役にはアイドルグループ嵐の松本潤さん、ヒロインには女優の深田恭子さんが出演する。北海道胆振東部地震が発生したため、一時ロケが中断した。再び冬のシーンの撮影に入ると聞いている。北海道での先行放送が5月から6月頃に、全国放送を6月から7月に予定。NHK では、松浦武四郎ゆかりの地を紹介する関連番組も企画されている。

Q 松浦武四郎記念事業も山場を迎える。市長の意気込みは。

A 主演が松本潤さん、共演が深田恭子さんということで、熱心なファンが今、松浦武四郎記念館にかなり来ていただいている。松浦武四郎を全国に発信することによって、松阪市をPR していきたいと考える。

用語解説 ニシパ アイヌ語で男性の敬称

雑誌スポンサー制度提案のその後は

- Q 平成25年12月議会で雑誌スポンサー制度を提案したが、その後の経過は。

A 今後の方向性として、雑誌スポンサー制度について指定管理者とともに導入に向け検討する。

読書通帳の導入

- Q 図書館改革の最中、担当に海津市の読書通帳と資料を渡し導入への検討をお願いしたところ、本年4月から読書手帳としてスタート。今後、どのように読書推進を図っていくのか。

A ホームページ、図書館等のカウンターなどで配布するなど周知ができることから読書推進を図っていく。



▲読書手帳

AED 貸出制度のその後の検討経過は

- Q 平成28年6月議会でのAED 貸出制度について、その後の経過は。

A その後のアンケートで34の住民協議会から制度があれば貸し出しを希望するとの回答もあり、来年度から貸出対応できるよう引き続き検討する。



▲貸出用AED

- その他の質問事項

 - WE ラブ赤ちゃんプロジェクト
 - 公共施設の AED の屋外移設
 - AED 設置補助金制度創設

日本共産党

ひさまつ みちお
久松 倫生 議員



無所属の会・みらい

かいじゅう つねゆき
海住 恒幸 議員



公明党

まつおか つねお
松岡 恒雄 議員



日本共産党

くりたにけんいちろう
栗谷建一郎 議員



暮らし優先の財政出動と市民負担軽減

- Q 松阪市の財政状況は「硬直化は過去の話」「持続可能な財政運営が行われる」と明確な答弁があった。予算編成時期に入っており、市民にどう生かしていくのか。



- A 全体的な考えの中で市民生活の部分で財源を生かしていく。
- Q 市民負担はこれ以上増やさないという基本があってもいいのではないかな。
- A 身の丈に合った財政運営を心がけ、きちんとした事業展開をしていきたい。

松阪市民病院の今後について

- Q 地域医療構想や地域包括システムの構築が課題だとは言われているが、初めに統合ありき、結論ありきではないかな。
- A 地域医療構想の判断基準が変わってきて、前提条件が変わる。時間がかかる。
- Q 市長選が終わったらとにかく統合になるということはないと思うが、今後の議論を待つということではいいかな。
- A 今の段階では今年度中に結論が出るところまでいかない。前提条件が出てからさらに論議していただくこととなる。

公民館は住民協議会の下部組織ではない

- Q 住民自治のあり方検討会での資料に、公民館を地域自治組織に「併合」と書いてあるが、併合とはどういう意味かな。
- A 市として住民協議会と公民館の関係性を整理するために提案した。
- Q 公民館は法律に基づく。住民協議会の下部組織でない。「譲渡」という言葉もあるが、そういう言葉が先にあっていいのかな。
- A 丁寧に協議したい。

幼保無償化

- Q 安倍総理が衆院選前に幼稚園や保育園の保育料を無償にすると公約したが、国が全額負担するはずはない。市には幼保合わせ9億2,229万円の保育料があるが、国が負担しないと、市が負担しなければならない。無償対象となるのはいくらか。
- A 国、県の負担の案が示されており、市が実際負担するのは3億3,000万円となる。

風力発電建設の搬入路

- Q 巨大な積載物のある車両が、通常の車でも入っていけないような山を登れるのか。
- A 道路の拡幅や橋の補強が必要になる。
- Q 市は無条件に許可するのか。
- A 道路管理上の支障の有無など総合的に判断し、承認、不承認の処分を行う。

観光危機管理の充実

- Q 地域防災計画に観光旅行者に対する避難場所、避難経路などの計画がどのように定められているのか。
- A 災害の種別により避難場所、避難経路、避難方法も区分が異なることから、避難所の位置づけは計画上で定めているが、避難経路は位置づけが難しいため、計画には現在定めていない。観光旅行者は、災害時の帰宅困難者と位置づけ、受け入れ、情報支援、物資支援に努めるとも記載している。
- 三重県石油商業組合松阪支部や三重県も加盟している関西広域連合と災害協定を締結し、帰宅困難者に対しての支援、協力をいただくことを記載している。
- Q 総合計画の観光入り込み客数が平成27年度で272万3,971人であるが、観光客の中で外国人の人数の把握は。
- A 平成28年の宿泊旅行統計で、松阪市内の外国人宿泊数は1万2,200人、平成29年度松阪市観光情報センター利用外国人観光客数は1,126人と把握している。
- 意見 総合計画では、防災・危機管理対策の充実の中で、人的被害ゼロを謳っている。松阪に来ていただく観光旅行者の皆さん含めて、防災意識の向上と計画的な防災対策をしっかりと実施し、災害に強い安全な松阪を目指していただきたい。

その他の質問事項

- ・ 海拔表記のさらなる工夫強化
- ・ 福祉用具の供給

LGBT など性的マイノリティへの施策

- Q 性的マイノリティは調査によれば7.6%という結果が報告されている。市の相談窓口は。
- A 三重県の「フレンテみえ」の電話相談を案内するとともに、相談窓口については相談窓口一覧表の作成、そして配布などにより周知していきたいと考えている。
- Q 教育の分野の取り組みはどうか。
- A 子どもたちに寄り添い、悩みの解決に向けた相談体制、あるいは発達段階に即した学習指導、保護者への啓発活動への取り組みを支援している。
- Q 公文書の性別記載欄の取り組みは。
- A 公文書の現状を把握した上で、性別の記載が不要なものは削除していく。

過疎地の農林業の振興

- Q 過疎地は大変厳しい状況であるが、今、全国的にも「田園回帰」とも呼ばれ、若者が条件不利地といわれる過疎集落に定住し、地域住民とともに地域振興に力を発揮している。市の取り組みはどうか。
- A 国の青年就農給付金などに加え、市のがんばる認定農業者等支援事業、中山間地の直接支払い交付金など農業施策を継続していく。飯南地域の新規就農者には、上仁柿で藍染めの原料を栽培していただいている。地域の活性化につながっている。

無所属の会・
みらい

たなか まさひろ
田中 正浩 議員



松政会

よねくら よしちか
米倉 芳周 議員



会派に所属
しない議員

はまぐち たかし
濱口 高志 議員



松政会

まつもと かずたか
松本 一孝 議員



地区集会所建設事業補助金

- Q 地区集会所建設事業補助金で世帯数14世帯の黒田町本里町内会で463万4,000円の補助金支出があったのか。
- A 平成20年度に新築で14世帯に対して463万4,000円の補助金が出ている。
- Q 住民協議会の補助金でも世帯数規模で3段階に分かれているが、地区集会所要綱は、憲法第14条（法の上の平等）に違反しているように思うが。
- A 自己資金を必要とする制度で住民の数、財政力等に見合った制度になっている。

市役所本庁ガスエアコン工事

- Q 天井張り替え面積約2,600㎡の内、アスベストを含む天井張り替え工事2,332㎡の数字は、どのように出したか。
- A 当時の図面とか現場確認で行った。
- Q 既設照明器具を取り外し取り付けで1,351灯とあるが、なぜ新しいLED器具に交換しないのか。
- A 再使用可能と判断した。
- Q 省エネタイプ器具でも15年経っている。もう部品供給は、無くなっている。蛍光灯の国内生産は2020年に終わるのに、なぜ再利用なのか。
- A 再生利用が可能、まだ使用できるということである。

鈴の音バス等の運賃改定

- Q 3,000人アンケートを実施して、7割を超す方が、「値上げしてもいい」と理解しているというが、本当か。平均100円を幾らにするのか。
- A アンケートの中では200円以上の運賃値上げについて理解して頂いている方が7割ということである。現在、鈴の音バス、三雲松阪線、大口線について、そのように運賃改定に向けて検討している。
- 意見 7割を超す方が200円で良いということに疑問がある。自己負担というものは大きいもの、検討を願う。

飯高町宮前の「小津安二郎資料室」

- Q この施設は、飯高の老人福祉センターの一角を借りて地域組織のオーズ会が一生懸命活動している。ある程度の営業日数かとれ、入場料が取れるところとして、「飯高駅」への移転案はどうか。
- A そのスペースの確保が難しい状況である。現在、飯高駅ロビーの一角に一部資料展示も行っている。今後も飯高駅との連携を図りながら、集客の支援を行っていく。
- Q 小津安二郎に関して、十分に観光資源となり得るとの見解であるが、市長の考えは。
- A 特に飯高にある資料は非常に貴重な資源であり観光資源の一つである。今後は更に研究し、活用できるよう努力していきたい。

なぜ嬉野・三雲振興局では 確定申告できないのか

- Q 飯南・飯高ではなぜ実施できるのか。
- A 三雲・嬉野の申告件数は3.5倍あり、職員体制を組めない。
- Q 明和町では税務LANを使い、確定申告をしている。e-Taxでは1人25分、税務LANなら1人5分で終わる。松阪市にも同じシステムがある。これを使えば対応可能ではないか。
- A 税務LANは1つの町がやっているのみ。それほど簡単なら他もやっているが、そうではない。
- 意見 明和町だけがやっているのが有効ではないとは、明和町に失礼。私は実際に見てきたが、本当に簡単にできるシステム。市の大切な資源なので、最大限、市民の利便性向上に役立ててほしい。

中小企業の事業継承問題への対応

- Q 経営者に後継者がいないことで廃業する事業所が増えている。雇用者数、GDPが減少するが、どのように対応するのか。
- A 産業支援センターで事業継承相談、セミナーの開催を行っている。今後は県の関係機関と連携しながら支援を行っていく。
- 意見 長年、安定した経営をしてきた企業が廃業するのは、市にとって大きな損失。今後ともしっかりした支援策をお願いする。

その他の
質問事項

- ・市税の延滞金処置

松坂城にかかわること

- Q 松坂城築城に関して、その当時の背景が分かる昔話がある。その昔話の中で、「雲西寺の和尚」「夜泣き橋」というのがある。
- 昔話から、当時の広範囲にわたって住民を駆り出し酷使し、住民の信仰の対象であったご神木や寺社を取り壊し、城づくりに取り立て、住民に対し精神的にも支配者が変わり、威厳を保ったということがわかる昔話だと思う。学校教育でも郷土の偉人に学ぶ教育と蒲生氏郷公の冊子があり、氏郷公の偉業が称えられているが、こういった昔話も補足して松坂城築城の背景を教えてはどうか。
- A 毎年、郷土教育担当者を集め、研究会を開いている。そこで話題として紹介し、これから各校の取り組みの参考とさせていただく。
- Q 松坂城には門など古写真が残っているが、QRコードを使ったスマートフォンやタブレットに映るCG画像とかの考えはないか。
- A 今後の整備の検討の中で、そういった手法も参考にしていく。ただし、映像であっても史跡に対する誤解を与えないよう歴史的事実に基づくことが必要と考えている。

その他の
質問事項

- ・日章旗にかかわること
- ・ワクチン助成にかかわること

行政 視察

調査報告

松阪市議会では、年4回の定例会を中心に会期を設けています。専門別の委員会では、毎年8月に委員の選任が行われてから1年間を任期として、活動し、年間の調査テーマを決めて、【閉会中の継続審査として】本会議で承認を得ることによって、継続的に調査研究を行っています。

行政視察は、その一環で実施しているものです。



議会運営委員会

タブレット端末、通年議会

茨城県守谷市 〈1月9日〉

タブレット導入のメリットは大きく、議員間の迅速な情報共有、市民の方への説明の活用、紙・印刷など事務費削減などがある。通年議会は、会期の制約がないため、機動的、弾力的な議会運営が可能となるが、執行部への事務量増加などデメリットもある。松阪市議会としても、重点的な検討が必要な時期である。

市議会災害時BCP（業務継続計画）、議会のICT化

神奈川県横須賀市 〈1月10日〉

横須賀市議会災害時BCP（業務継続計画）を策定している。松阪市議会としても、市の防災計画がうまく機能するために議会として議員としてどうあるべきか、協議していく必要がある。

議会のICT化は、経費削減効果だけでなく、市民の方への情報発信などさまざまな活用の可能性があり、導入に向けた検討組織を立ち上げる時期である。



▲神奈川県横須賀市

総務企画委員会

公契約条例

千葉県野田市 〈1月16日〉

市が発注する建設工事や業務委託について、野田市は全国初の「公契約条例」を平成21年に制定、まちづくりに寄与するものとなっている。全国的な広がりも出ている。賃金未払の事例など、松阪市でも必要性の有無、内容など検討していく必要があると考える。

公共施設の課題と今後の展望と 使用料に係る改正の経緯

千葉県市川市 〈1月17日〉

「負担の公平性の確保」を目的に使用料を見直し大幅な値上げを行った。平成29年に検証したら、利用人数や利用時間が減少、使用料が高いと感じている割合が多くなった。市民活動の支援に使用料の引き下げを実施した。参考になる事例である。



▲千葉県市川市

環境福祉委員会

自殺対策

東京都足立区 〈1月17日〉

自殺の実態分析から対象者や支援内容を精査し、全職員にゲートキーパー研修を必須で実施。NPO 法人ライフリンクとの事業協定、関係機関を含めた足立区全域での支援体制を確立したことにより、自殺者数・自殺率ともに過去10年間の最低水準にまで減少した。

地域包括ケアシステム

東京都多摩市 〈1月16日〉

少子高齢化の急激な進行のため、「永山モデル」として市街地商店街へ地域包括支援センターを移設し、地域の居場所づくりとともに、高齢者の能力活用や生きがい活動、健康づくり活動等を実施。地域住民や民間企業、NPO との協働的な取り組みを学んだ。

旧市民病院の利活用

静岡県袋井市 〈1月18日〉

医師不足や経営難のため、掛川市との公立病院統合により、高度急性期を担う総合病院を新設。閉院予定だった旧市民病院を改修・機能転換し、民間の医療法人に指定管理委託。広域での医療機能の分担やバックアップ体制により、地域医療の確保が可能となった。



▲静岡県袋井市

文教経済委員会

中心市街地活性化

神奈川県小田原市 〈1月16日〉

国の中心市街地活性化事業を活用し、基本計画で具体的な目標を定め、100に及び事業を推進。地下商店街・駅前大型ショッピングセンター等、多くの地域資源を活用する中で事業を展開。流動客数増加が図られ活性化に成功。緻密な調査研究に基づく真剣さが大きな成果をもたらせた。



▲神奈川県小田原市

里山保全再生活動

神奈川県秦野市 〈1月17日〉

少子高齢化に向かう中、官民学地域を巻き込んだボランティア養成などダイナミックな活動と全体をまとめた協議会設置など、創意工夫がなされている。持続可能な開発は、里山に関しては保全再整備であり、総合的な視点からあらゆる部署総動員で対応すべきと思われる。

学校プールのセンター化

神奈川県海老名市 〈1月18日〉

プールのセンター化に移行できたのは市域内に複数の公共屋内プールが既に存在していたこと。本市の場合、公営・民営利用にしても収容人数に限界がある。発想を転換し、市民供用の多機能型施設として市域をブロック分けするなど、建設検討するも良いと思われる。

建設水道委員会

空き家対策

石川県小松市 〈1月18日〉

平成24年度より空き家対策を実施しており、改修費助成（上限40万円）は毎年約25件、解体費補助（上限30万円）は毎年約10件活用されている。

本市でも空き家に関する苦情が多い。早急に同様の補助制度を設置し、具体的な空き家対策を実施すべきと思われる。

複合施設アオーレ長岡

新潟県長岡市 〈1月16日〉



▲新潟県長岡市

11市町村の合併により行政スペースが手狭となったため、議会棟、アリーナを併設したアオーレ長岡を建設した。

これは国立競技場を設計した隈研吾氏の設計で、総工費は131億円。議場を1階に配置した斬新なデザインで、学生も集う非常に市民に開かれた市役所となっている。

広報広聴委員会

広報広聴の取り組み

岐阜県可児市 〈1月22日〉

議会報告会のチラシは議員の写真入りが特徴であり議会報告会と意見交換会の二部構成となっている。テーマを設定しテーブルに分かれて意見交換を実施している。議会は執行部のチェック機能が最大の役割の中で、どのようにすれば議会の活動が市民の皆さんに伝わるのか、そのヒントが可児市の議会改善策にある。

広報広聴の取り組み

愛知県岩倉市 〈1月23日〉

岩倉市の広報広聴では、広報と広聴が分かれていて、その担当が役割を担っている。若者との意見交換で「おむすびトーク」や、外国人ママとの意見交換である「おだんごトーク」などユニークな意見交換会や、議会サポーター制度を作り、議会や委員会を傍聴し、さまざまな意見をいただいている。



▲愛知県岩倉市

平日の夜間3日間開催します！



市内中学校単位(12カ所)で第12回議会報告会を開催します。

平成31年度の予算審議を中心に、皆さんの暮らしにかかわる事業の報告や意見交換をさせていただきます。

ご都合の良い日時に各会場へお越しください。



▲第11回議会報告会の様子（殿町中学校会場）

開催日	開催場所
4月16日(火)	第一公民館
	神戸地区市民センター
	松尾地区市民センター
	茅広江地区市民センター
4月17日(水)	松ヶ崎地区市民センター
	西黒部地区市民センター
	伊勢寺地区市民センター
	射和地区市民センター
4月19日(金)	中川コミュニティセンター
	小野江コミュニティセンター
	飯南コミュニティセンター
	飯高老人福祉センター

時間は午後7時から9時までの予定です。

※都合により変更になる場合があります。

2月定例会は、2月19日から3月25日の会期35日間で開催しています。3月は補正予算が上程され、当初予算と共に各常任委員会に付託され、審議されます。是非、本会議、委員会ともに傍聴にお越しください。

[3月分]

平成31年2月定例会の開催日程 35日間						
日	月	火	水	木	金	土
					3月1日	2
3	4 本会議 (代表質問)	5	6 本会議 (代表質問) (補正上程)	7	8 本会議 (代表質問)	9
10	11 本会議 (議案質疑)	12 委員会 (環境福祉) (文教経済)	13 委員会 (予備日)	14 委員会 (総務企画) (建設水道)	15 委員会 (予備日)	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25 本会議 (当初・ 補正議決)	26	27	28	29	30

議会中継のご案内



123ch

ケーブルテレビ

※録画放送は、会議の日の約1週間後から視聴できます。

松阪市ホームページ

松阪市議会



定例会の一般質問や、本会議の様子は、行政チャンネル（ケーブルテレビ123ch）やインターネット（松阪市議会本会議中継）生中継の他、録画でも放送しています。

詳しくは、市ホームページ「松阪市議会のページ」をご覧ください。



表紙

今月号の表紙は、松阪工業高校繊維デザイン科2年生久世うたさんの「モーモーうしくん」。松阪大好き松阪牛のうしくんがみんなのところにやってきたよ！うしくんはまだ松阪の事を勉強中だから、うしくんに松阪の事をいっぱい教えてあげてね！

編集後記

「みてんか」第74号をお届けします。

平成もいよいよ残りわずかになりました。新しい時代へ向け少しずつ準備をされているのではないのでしょうか。広報広聴委員会として新時代を迎えても、市民の皆さまによりわかりやすくより親しんでいただけるよう日々の議会活動をお伝えしようと取り組んでまいります。皆さまからのご意見やご要望などお寄せくださいますよう、よろしくお願いいたします。

広報広聴委員長 松岡 恒雄



▲行政視察(岩倉市議会議場にて)

左から 中島清晴、赤塚かおり、殿村峰代、松岡恒雄
(委員長)

堀端脩、橘大介、松本一孝、海住恒幸
(副委員長)

● お問い合わせ
松阪市議会事務局

● 発行 / 松阪市議会 ● 編集 / 広報広聴委員会
〒515-8515 三重県松阪市殿町1340番地1

Eメール gikai@city.matsusaka.mie.jp
電話 0598-53-4433 FAX 0598-23-3962

